

### Mac Audio 2014



●+■+◆ 上級ブランドのパフォーマンスを継承

# ADL

Alpha Design Labs

文：武者良太 Ryota Musha

### 音源の質が高いほど その良さが分かる

USBケーブルを換えても音質は変わらないだろうという意見も多いが、ハイレゾ音源を広ダイナミックレンジなUSB-DACに送り込む場合、意外なほどに音質が変わる。現状のPCオーディオではUSBによるデータ送信時に、アイソクロナス転送というUSBオーディオクラスを用いる。これはHDDなどにデータを転送するバルク転送と異なり送信データの誤り訂正を行わず、音飛びさせることなくデコードすることを重視したモードである。そしてUSBの電力変動、Mac本体からの放射ノイズがUSBケーブルを伝わり、デジタルデータの正確性やUSB-DACによるデコードの正確性に影響を与える。つまり使用する導体の質やシールド構造により音質が変わる、アナログ的なアプローチこそが音質劣化を防ぐという事実が浮かびあがる。それを踏まえた上でエントリークラスのオーディオ用USBケーブル、ADLのFormula 2 USB B TypeでMacBook AirとHP-P1を結び、ハイレゾ音源を再生してみた。PCやUSB機器に付属するUSBケーブルとの違いはまず中低域のボリュームに現れる。中音域の密度が高く、低域の量感ほぼ同じだがタイトに。全体的にリッチなテイストにまとまっている。しかしMP3音源を再生するとその差は感じ取れなくなった。高解像な音源があつてこそ、絶妙な深みのある味わいの違いへと変化するのだろう。

では、iOS機器とUSB機器を接続するオーディオ用Lightningケーブルはどうだろうか。iPhone 5s付属ケーブルと比べるとADLのiD8-Aは、中低域のエネルギー感が向上し音圧大。それでいてレスポンスが向上したような、ハイスピードなトーンを見せてくれた。音圧とスピードの両立という世界は、派手な音色を使った曲の魅力

を高めてくれるものだった。ケーブルを上位モデルのGT8-Aに交換すると、全帯域において解像感とスピードを重視したサウンドへと変化した。特に高域の伸びに注目。アタックの強い痺れるような管楽器の高音、堅さのなかに柔らかみがあるピアノの高音ともに再現力が高まっている。シンバルの音域にピークを感じる付属ケーブルとは音楽性が段違いだ。しかしこの両者も、圧縮音源では個性をアピールしきれない様子がうかがえた。またGT8-Aはコンプレッサーを用いてトラックダウンした曲だと高域のHi-Fi性能が圧力ある中低域にマスクされる様子。よりエッジを立てた、オンリーワンの性格に作り込んできたとうかがえる。



USBケーブル

### Formula 2 USB B Type

¥4,200 (0.6m) / ¥4,987 (1.2m) / ¥5,775 (1.8m) / ¥8,137 (3.6m) / ¥9,975 (5.0m)



Lightningケーブル

### iD8-A

¥7,560 (10cm) / ¥7,875 (18cm) / ¥10,395 (1.0m)



Lightningケーブル

### GT8-A

¥13,650 (10cm) / ¥14,280 (18cm) / ¥16,800 (1.0m)